

ビキニの裸女 (1952)

MANINA, LA FILLE SANS VOILES

THE GIRL IN THE BIKINI [米]

THE LIGHTHOUSE-KEEPER'S DAUGHTER [英]

メディア 映画

ジャンル アドベンチャー ロマン스

製作国 フランス

色彩 B&W

時間 86分

初公開日 1959/12/13

公開情報 大映

【解説】

親しい大学教授にコルシカ沖の沈没船に眠る黄金の話を聞いた主人公（J = F・カルヴェ）は探索隊を組織するが、離反者の中年男H・ヴァーノンに、財宝と灯台守の娘バルドーを横取りされそうになる。地中海を舞台にした冒険ロマンスで、俗っぽい「冒険者」のモノクロ版とでも言うか。BB旋風で製作後8年して公開された、彼女がまだ17歳の頃の助演作。矛盾した邦題だが、彼女の肢体は既に充分眩しくて、野生児的なこの役は平凡な映画の中では極めて印象深い。

【クレジット】

監督	ウィリー・ロジェ	Willy Rozier
製作	ウィリー・ロジェ	Willy Rozier
脚本	ウィリー・ロジェ	Willy Rozier
	ザヴィエ・ヴァリエ	Xavier Vallier
撮影	ミシェル・ロカ	Michel Rocca
音楽	ジャン・ヤトヴ	Jean Yatove
出演	ブリジット・バルドー	Brigitte Bardot
	ジャン＝フランソワ・カルヴェ	Jean-Francois Calv
	ハワード・ヴァーノン	Howard Vernon
	エスパスタ・コルテス	Espanita Cortez
	レイモン・コルディ	Raymond Cordy